

大牧温泉観光旅館への“足”として 欠かせない庄川峡の観光遊覧船に mcAccess e を導入

スムーズで安全な運航に 活用したい

庄川遊覧船株式会社 様

●所在地／富山県砺波市庄川町小牧73番地5 ●TEL／0763-82-0220
●mcAccess e 導入時期／2008年4月 ●契約台数／6台(うち指令局1台)

小牧ダムと大牧温泉観光旅館がある大牧とを結ぶ 遊覧船を運航

富山県の県定公園にも指定されている名勝・庄川峡は、小牧ダムの上流約15kmにわたる峡谷。ダムがある小牧と大牧温泉観光旅館で有名な大牧間は、観光遊覧船で周遊できます。大牧温泉観光旅館への重要な交通手段でもある遊覧船を運航されているのが、庄川遊覧船(株)です。

所有船は「やまぶき」(定員120名)、「こまき」(定員70名)、「はやぶさ丸」(定員31名)の3艘。主に「やまぶき」が1日4往復(冬期は3往復)しています。遊覧船からは、浅緑色の美しい水面に加え、春は新緑、夏は青々と茂った緑、秋は紅葉、冬は雪景色の山肌が楽しめます。



貸切船やショートクルーズ(25分)のプランもあります。

事業譲渡に伴い、小牧事務所と船との通信手段として、 mcAccess e を導入

庄川遊覧船(株)は、関西電力(株)より庄川船舶事業を譲り受け、今年4月に発足。運航には、小牧事務所と船との通信手段が必要です。従来使用されていた業務用無線は使用できないため、新たに通信設備の設置が急務となり、検討を重ねられました。業務用無線の場合は、大牧温泉側にアンテナの設置が必要ですが、景観上困難。しかも、専用回線の空きがない状態だったため、断念せざるを得ませんでした。一方、携帯電話は、大牧温泉側でほとんど電波が入らないし、緊急・災害時には輻輳する可能性もあります。

そこで白羽の矢が立ったのが mcAccess e。庄川峡はMCAのエリア外ですが、販売店に相談したところ、MCAの制御局がすぐ近くにあることから、2007年12月にフィールドテストを行ったのです。その結果、95%のエリアで明



船から鴨、オンドリなどの水鳥や、ときにはカモシカを見ることがもできます。「先日、熊が泳いでいて、お客様が大喜び。mcAccess e で事務所にも連絡しました。」

瞭な音声で通話できることが確認できました。通信不能なところも、アンテナの設置などでカバーできるのではないかと期待の下、導入に至ったわけです。決め手となったのは、コスト面の有利性。初期投資額(イニシャルコスト)が少なく、ランニングコストも安価という点だそうです。

一斉通信で全員が情報共有。 本格的運用を図り、日々の運航に役立てたい

現在、mcAccess e を使用されるのは、臨時増発の必要があるときや、船体や航路、お客様に何らかのトラブルがあったとき。主にイレギュラーな状況の際に、一斉通信を活用し、事務所側も含めて全員が情報を共有されています。「小牧出航前に大牧側での乗船客数を確認したり、乗船場でお客様にアクシデントが起きたりしたときの連絡に mcAccess e を使っています」と、同社主任の藤田寛二さんはおっしゃいます。この夏、7月28日の集中豪雨のときには、多数の流木が庄川峡の川面を埋めました。その当日、関西電力の発電所で異常が発生したため、夕暮れ近くに貸切便出航の要請があったのですが、暗くなると流木が船に当たり、危険。そこで、乗組員と小牧事務所側が mcAccess e で連絡を取りながら運航され、無事に戻ってこられました。

導入して4カ月(2008年7月末現在)。「mcAccess e はクリアに聞こえますね。ただ、ところどころで電波が途切れます」と乗組員の方々は言われます。これは地形の関係上、止むを得ない現象なのですが、大牧の乗船場では電波の入り具合が不安定で、大牧温泉観光旅館では電波が入らず、通信できないという状況です。そこで対策として現在、mARCSII(インターネットVPNを使用した、通信不能なエリアをカバーするシステム)を試験的に導入される予定です。

庄川遊覧船は、大牧温泉観光旅館にとっても、必要不可欠なお客様の“足”。旅館支配人の守屋 勉さんは、「運命共同体」と位置づけておられます。今後、mcAccess e の本格的運用が図れると、遊覧船の運航はさらに安全に、スムーズになるはず。大牧温泉観光旅館のサービス向上にも役立つことでしょう。

- POINT**
低コストで利用できる mcAccess e
- 無線従事者の資格・専用回線の取得不要
 - イニシャルコスト割安。利用料は定額制なので、ランニングコストも有利
 - 一斉通信で、全員が同時に情報共有



「やまぶき」の乗組員と通話中の中田孝さん。プッシュしてから通話までの間に多少のタイムラグがあり、その点はまだ慣れないとのこと。



小牧にある大牧行き乗船場。駐車場も併設されています。



大牧温泉観光旅館。秋には、山のイチヨウ、モミジ、ブナ、ナラなどが紅葉。10月下旬から11月中旬が見頃です。



庄川遊覧船(株)主任・藤田寛二さん。

船でしか行けない秘境の一軒宿として知られる大牧温泉観光旅館と、小牧とを結ぶ遊覧船(片道8.1km、約30分)の通信手段として、今年4月に mcAccess e が導入されました。当地は、MCAのエリア外ですが、制御局がすぐ近くにあるところから、導入可能となったのです。ただ、導入後は、山間の水面ならではの問題も出てきました。今回は、庄川遊覧船株式会社様を訪れ、導入後の様子と課題について、同社主任の藤田寛二さんはじめ、乗組員の方々に聞きました。

集中豪雨のためダムの水が濁り、いつもの美しい水面が見られません。



小牧事務所と mcAccess e で通話中。乗組員の方は、「お客様の命と財産を運んでいるという気持ちで取り組んでいます」。

